

# 行政自治会だより

第6号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 天笠順弘

## 自治会長・行政区長視察研修 ～ いま、自治会・行政区が問われている ～



興味深い研修会となりました

初冬の甲州路は碧い空がどこまでも深く、富士山が美しく迎えてくれました。

平成24年度、行政自治会の視察研修が11月9・10日、山梨県で行われました。

日本一の発電量を誇る米倉山太陽光発電所を見学。小高い丘陵を利用した壮大な次世代エネルギーの実験施設に感動し、再生エネルギーに関する理解を深めることができました。

午後の講話は山梨学院大学法学部部長・同大学院社会科学部教授日高昭夫先生による、自治会・行政区をめぐる諸問題、問題解決に向けた考え方、未来に引き継ぐために今やるべきこと等、私たちが知りたかったテーマについて丁寧に分かり易く、実例を示しながらの講義がありました。マンネリ化した自治会・行政区の運営をしていないか、反省させられました。同じ顔ぶれが、前年に<sup>なら</sup>倣って、漫然と

過ごしていないだろうか。住民の手足となって、労を惜しまず、新しい風を、新しい人材を包括し、この社会的資産である自治会・行政区を未来に引き継ぐ責務を痛感しました。

雪の帽子をかぶった富士の山に見送られ、実り多い研修を終えました。

(広報委員 荻谷武士)

### 目次

- P1 自治会長・行政区長視察研修
- P2 新年のごあいさつ  
地域防災訓練を実施
- P3 地区紹介 (第9地区)
- P4 市内歴史散歩 (第5回)

## 新年のごあいさつ



古河市行政自治会

会長 天笠順弘

新春を迎え会員の皆様には、ご家族お揃いでよい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は一昨年の東日本大震災発生時における地域の対応、絆の重要性、防災組織の整備を含む様々な問題の教訓を得た1年でありました。

古河市も合併8年目を迎えており行政自治会においても三地区合同の視察研修、広報紙発行等、多くの事業活動において、より深い交流が出来、成果も上がり、役員をはじめ会員皆様のご理解、ご協力にお礼を申し上げます。

今後においては、活動の有効性や合理化に向けてさらに改善が必要と思われ、11月の正副地区長会議において、自治会長・行政区長の任期を2年にすることを目標とし、平成26年度からの実施に向けて各地区の会議等で提案、協議をお願いしているところでございます。また、各組織編成についても100世帯を目途の合併に向けてご検討をいただいております。

本紙「行政自治会だより」も今回で第6号の発行となります。委員の皆様による地域の特性を活かした内容豊かな広報紙となり、地域の連帯感を高めるきっかけとなっております。今年も健康に留意していただき、ご活躍をお願いします。

結びに行政自治会の皆様におかれましては、今年1年がよき年でありますようご祈念申し上げ、あいさつといたします。

## 地域防災訓練を実施 ～第二中学校区の自治会が参加～

10月28日(日)古河第二中学校区地域防災訓練が古河第四小学校校庭にて実施されました。

午前8時、サイレンを合図に行政自治会(60自治会と1行政区)参加者415名、消防署他関係機関213名、合計628名が校庭に集結しました。

「本日午前8時00分、茨城県南部を震源とするマグニチュード7.2の直下型地震が発生し、古河市は震度6強で市内各所において建物倒壊、火災の発生、道路の損壊などの被害が発生。市は被災住民の救助にあたるとともに、関係機関と協力して応急対策を行うため、現地対策本部を設置した。」と、本部長より厳しい訓示がありました。そして、次々指示を受けながら、各自が配置について訓練が開始されました。

初期消火においては、燃え盛る勢いで火元に行

けず消火器を噴射するもの、煙体験コーナーから涙を流しながらハンカチで顔を覆い出てくるご婦人方、隣の起震車から揺れる音と共に悲鳴も聞こえてきます。この間、救助隊による3階から垂直に取り付けられた救助袋、救助袋の入口を何度も覗き込んでためらう救助者、下で見守るがんばれの声。突如、爆音と共にヘリコプターが屋上の真上からワイヤーロープを下ろし始めました。これを待っていた救助者がワイヤーロープにより救助されると、ヘリコプターはそのまま上昇しゆっくり大きく旋回を始めました。下で見守る観衆から現実に見せられた感動と感激の惜しげの無い拍手が見えなくなるまで続けました。今日の訓練は実践さながらの素晴らしい防災訓練でした。

(赤松町自治会 会長 有明三郎)



小雨が降る中での初期消火訓練



体育館では応急手当訓練も行われました

## 地区紹介（第5回） ～第9地区～

第9地区は、平成17年9月12日の新生「古河市」の誕生に伴い、自治組織等再編が検討され、消防団単位（総和地区）として、古河市行政自治会の発足により、平成20年4月に設立されました。

当地区は7つの行政区（西牛谷、東牛谷、今泉、八幡町、東泉町、みどり野、東牛谷南町）から構成されており、現在約1,300世帯の方々が入居しています。

地区の範囲は、およそ、東は東北新幹線の高架付付近から西は向堀川まで、北は栃木県境から南は十間通りまでとなっております。

メインストリートである国道125号線・十間通り・平和通りは、スーパーや家電量販店、自動車関連の大型店舗などが出店する商業地区であり、また、地域の中核的な医療機関として「友愛記念病院」も開設されています。地区の中央部分には第1種住宅専用地域として、大規模な宅地造成が進んでおり、集合住宅も増加しています。小学生は西牛谷小学校・上辺見小学校・小堤小学校に通学し、消防団は第10分団が5行政区、第11分団が2行政区を管轄し護っています。

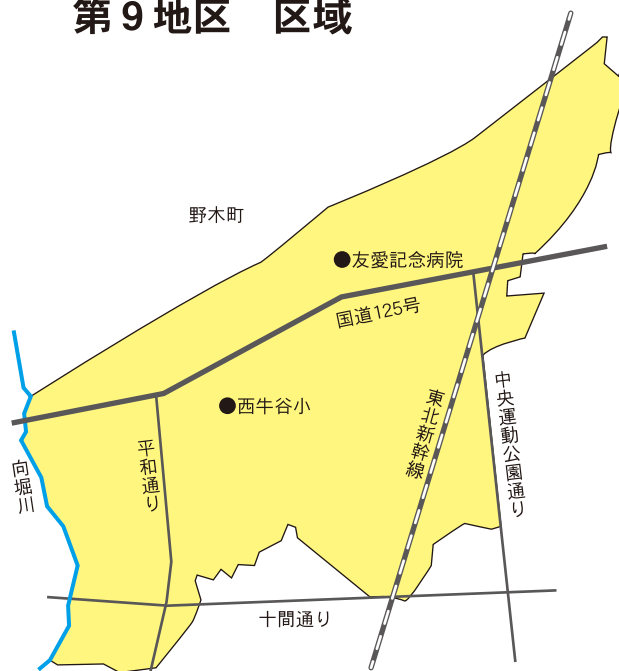
第9地区規約は、平成22年4月1日から施行されておりましたが、平成24年に一部改正し、内容を充実するとともに、地域コミュニティ事業を計画するにあたり、「第9地区コミュニティ事業実行委員会要綱」を新規に立ち上げ、平成24年4月1日から施行しました。

その成果として、平成24年11月25日には、第1回目のコミュニティ事業であるウォーキング大会を開催いたしました。約200名の方々が出発式を行って、古河市役所総和庁舎からネーブルパークまで、好天に恵まれさわやかな秋の日差しの中、気持ちよい汗をかきました。



好天に恵まれたウォーキング大会

### 第9地区 区域



ゴール到着後の集合式では、「第9地区コミュニティの設立宣言」が行われ、来賓の皆様から心温まるご祝辞をいただきました。地域住民の皆様の前で設立宣言が読み上げられたことで、一層、地域としての一体感が増したように思います。

このようなコミュニティ事業は地域住民の連帯感を深め、子供たちからお年寄りまであらゆる人々の親交を図り、より地域住民の絆を強固にしていくための活動です。

また、これらのイベント活動に加えて、当地区では自主防災活動にも力を入れております。東日本大震災から約2年が経ちますが、その教訓を風化させず、備えを十分にしていかなければなりません。そこで、地区の代表者が災害時に対応するための研修を受講し地区全体での避難訓練などを実施する意向です。

このように、コミュニティの活動は、地域の絆や防災意識など、暮らしの根幹を担っております。将来的には、集合住宅にお住いの皆様にも行政区に加入していただき、コミュニティ活動を盛り上げていきたいと願っております。

今後も、老人会や子供会などの関係諸団体の皆様のご意見をうかがいながら、より安心・安全で快適な街づくりを推進してまいります。

以上で第9地区の紹介といたします。

(第9地区 地区長 舟橋健夫)

## 市内歴史散歩（第5回）

### ～ 日光東街道と宿場（諸川・谷貝・仁連） ～

日光東街道（現在の県道結城・野田線）は、江戸時代に五街道（東海道・中山道・日光道中・奥州街道・甲州道中）の一つである日光道中（日光街道）の脇街道（現在のバイパスのようなもの）として発達しました。

日光道中は、参勤交代のほかにも、江戸幕府初代将軍徳川家康を祀っている日光東照宮へ将軍や大名が参詣するのに使われたため、通行量が非常に多く、そのために脇街道である日光東街道も通行が盛んでした。

日光東街道は、正式には関宿通多功道といい、水戸街道の小金宿（松戸市）から分かれて日光道中の雀宮宿（宇都宮市）で合流するまでをいいますが、旧三和町内の谷貝・仁連・諸川は、この日光東街道の宿場町として、江戸時代に栄えました。この3宿のうちもっとも早く宿場町として成立したのは諸川宿で、慶長期（1596～1615）には成立していたと思われます。次いで谷貝宿が元和5年（1619）頃成立し、仁連宿は少し遅れて慶安元年（1648）に宿場町となります。

宿場は、公用旅客や荷物を継ぎ送りするためのもので、一定の人足と馬が常備していました。日光社参は、徳川家康の命日である4月17日の大祭に将軍自らが参詣するもので、江戸時代に19回行われました。この時などは、大規模な通行があるので、常備の人馬だけでは間に合わなかったため、近隣の村から助郷として人馬が負担されました。こうした業務は問屋場において行われ、そこには宿場の責任者である問屋がいました。また、幕府の公用役人や大名などが宿泊するための施設として本陣・脇本陣なども置かれました。3宿とも、こうした問屋や本陣は村の名主が兼帯で勤めていました。

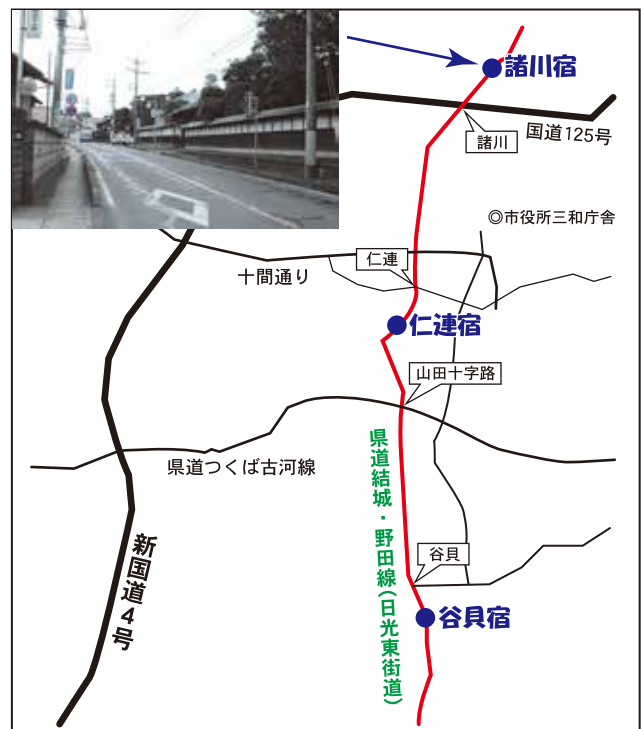
谷貝・仁連の旧本陣宅には、大名が宿泊や休憩

したときに、玄関に掲げた木札が残されています。

江戸幕府は、道中奉行所に命じて、五街道をはじめとする主要街道を実施測量して、文化3年（1806）に「五街道其外分間見取延絵図」91巻を作成しました。この絵図は、現在国の重要文化財に指定され、東京国立博物館に所蔵されています。道中奉行所が実際に街道を測量して作成しているため、各宿場や街道沿いの村が詳細に描かれ、現在では消滅してしまった大小の寺社や高札場などがあつたころの様子が覗われます。日光東街道の谷貝・仁連・諸川3宿も克明に描かれています。

いつも何気なく通っている道ですが、何百年もの昔、人間の足が通行の手段であるのが当たり前だった時代に、ふと思いを馳せ、歴史を感じてみてはいかがでしょうか。

（広報委員 菅原和美）



#### 編集後記

行政自治会の視察研修が行われました。

講師は自治会行政研究の第一人者で山梨学院大学の日高教授です。「自治会・行政区をめぐる諸問題」が主な内容で、特に自治会長や行政区長が苦慮している加入問題について関心が集まりました。

問題解決に向けた考え方として、加入については、転入者や未加入者に「入ってあたり前」から「丁寧な説明と勧誘が重要」と力説し、活動では参加者誰もが参加してよかったと言えるよう、広く浅く分担できる体制が必要であると説明されました。

今回の講演を肝に銘じ、自治会運営に活かしたいと思います。

（広報委員長 伊藤利彦）

#### 行政自治会広報委員会

委員長 伊藤利彦  
委員 鈴木國雄 横山泰男 荻谷武士  
坂本廣次 菅原和美 那須和弥  
湯本 豊 間瀬佳嗣

#### 訃報

12月24日、北新町自治会（第2地区）の越路誠自治会長がご逝去されました。

1月21日、リバティヒル135行政区（第8地区）の新倉英一郎行政区長（広報委員）がご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。